

パシオン通信 10月号



Singin' in the cold システム開発部 I・H

皆さま、もう新型コロナウイルスにつきましては辟易されている事でしょうが、再拡大が騒がれる今日この頃。夏の暑さも相まって例年より一層体調が気掛かりな日々を如何お過ごしでしょうか。夏季休暇中に実家へ電話を入れたところ「こんな状態でわざわざリスクを抱えて来る程じゃあない」と一蹴され、実家にはせめて精力のつくものを、とウナギを贈りました。もう1年以上直接顔を合わせていないので、少し寂しく思います。

昨今の新型コロナウイルスの影響であらゆるイベント、あらゆる娯楽も抑圧され、各々が不満も抱えつつも職場・学校の新しい在り方により大きな激動や少なからず新しい希望もある時代の大きな区切りを感じているのではないのでしょうか？

新しい生活様式とそれに伴う不満と希望の在り方を見てみると、「狂騒の20年代」と呼ばれた時代のアメリカの社会背景に重なるものを感じております。

今回はそのお話をおよその時代背景の概要と、昨今の在り方に対比した共通点を、あくまで一個人の勝手な妄言として語らせて頂こうと思います。

まず1920年代、Jazz Ageと呼ばれるアメリカの時代背景につきまして要点をかいつまんでご説明させていただきます。第一次世界大戦が終結し、アメリカは他国に比べ損害は軽く、好景気を迎え社会が活発化した時代になります。車や家電も一般普及しそれまで弱かった女性の権利は参政権の獲得を始め一転し、大量生産大量消費の経済サイクルもこの頃から固まります。大衆向け娯楽として映画が過熱し、多くのハリウッドスターが生まれ、ラジオの普及からジャズ音楽が大ブレイクした一見順風満帆そうにも見える時代です。この時代に行われた政策の大きなものに「禁酒法」があり、お酒の製造販売が禁止されました。ただし、大衆は望まず半ば強制的に試行された法律ですが到底守られる事はなく密造・密輸・密売が幅を利かせそれに手を付ける犯罪組織が利潤を獲得し、マフィアと呼ばれる大きな組織にまで発展したという非常に治安も荒れた時代でした。順風満帆の20年代も10年足らずでバブルがはじけ世界恐慌へ向かう非常に短い期間の輝きとなりました。この時代をモチーフとした映画は多いので、何かしら皆様の目に触れた事があるのではないのでしょうか？

以上が20年代のアメリカで、それに比べてしまえば今の日本には希望は溢れておらず経済は停滞するばかりに見えてしまいますが、先に禁酒法のくだりととの対比を語らせて頂きましょう。この時代のアメリカでお酒が禁止された様に、今はあらゆるものが誰も望んでいないにも関わらず禁止され、それでも幾らかは抜けながらひっそりと、或いは飲食店も妥協点を見つけて細々とやっている様は中々同じ立場で見れるのではないかと感じております。必須とは言えないものを買に出るにも後ろめたい思いをしながら、会食するではないしたまには…、と外食を取る。やや退廃的とも言える在り方は、当時を描いた映画等に重ねてちょっとした映画の登場人物の一人になった気分を味わっております。影の部分につきまして、少しでも共通点をご理解いただければ幸いです。

では、大して当時のアメリカの様なギラギラとした希望の輝きは無いではないか？と思われませんが、ここは私の職業柄とも言いますが、「情報系」と言われる分野の目線で今の在り方を見るとこれは光輝いて見えるのです。非常に腰の重かった会社にすら情報インフラが整備され、あらゆる業務の電子化が求められ、最近では「デジタル庁」なる行政機関まで出現しました。今まで石の様に硬く動かなかった業務体系が、日々劇的に変化を求められ、現場に設備が続々と投入されシステムが構築される様は私の目には「好景気の変化」に類するものに見えて仕方がないのです。車の普及はネット回線の普及、家電の充実はPCやプリンタ、その他電子機器の導入と置き換えて考えた故の妙な共通点であります。

今が歴史に残る大きな転換期であることには違いなく貴方様もまた後に映画として語られる様な特殊な時間を過ごしているのは決して空言ではないと思っております。ならばこそ良し悪しはともかくこの何時まで続くかも知れない時間を、せめて悔いが無い様に「今でしか成せない役柄」を出来る機会を逃さない様にしたいものです。

以上、最近見た映画の時代背景と多少強引にかこつけてお話させていただきました。快適には程遠い気候の日々が続いておりますが、引き続き体調管理を怠ることなく健やかに過ごせるよう善処していきましょう。

目次	
Singin' in the cold	1
黒、青、白、赤、黄、黄	2~3
Microsoft Teamsの活用	4
セキュリティ研修と緊急連絡一斉配信訓練の結果報告	4





黒、青、白、赤、黄、黄 システム開発部 S・S

五色揃って五色不動。というわけで、新型コロナ収束を願い五色不動巡りに行ってきました。

回る順番は、電車移動を考慮して

- (1) 目黒不動 (2) 目青不動 (3) 目白不動
 - (4) 目赤不動 (5) 目黄不動 (6) 目黄不動
- になります。(目黄不動は2か所あり、全部で6か所を回ります)

後、なるべく人との接触を避けるため、参拝のみで回っています。

(1) 目黒不動 (瀧泉寺 (りゅうせんじ))

最初は自宅 (横浜) から距離が近い瀧泉寺を目指します。山手線の目黒駅がありますが、最寄り駅は東急目黒線、不動前駅になります。駅から目的地までの道中にある坂道に苦労しながら無事到着。



時間は9時前でしたが、既に自分以外にも参拝している方が結構いました。この時点で気温は29℃。坂道を歩いたこともあり、汗が止まりません。境内に入り左手の水かけ不動を眺めながら、階段を登り本堂へ。中は薄暗く奥のほうは見えにくいですが、ここで浄財します。この後、本堂の裏手に回り、大きな大日如来像を参拝して、まずは1か所目が完了。次の目的地に向かいます。



(2) 目青不動 (教学院 (きょうがくいん))

2か所目は教学院 (最勝寺) です。東急世田谷線の三軒茶屋駅が最寄り駅ですが、乗換の都合で東急田園都市線、三軒茶屋駅に移動します。

駅の出口を間違え余計に歩きましたが、地図を確認しつつ目的地に到着。

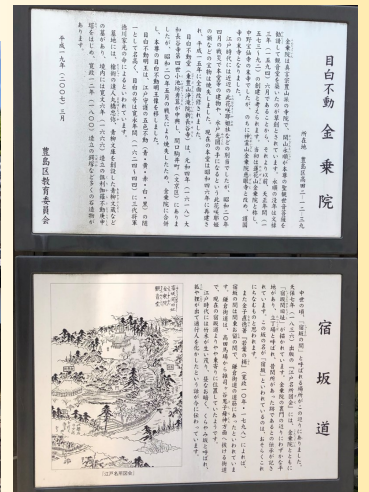


街中にあり近くを電車が走っていますが、境内は木々が多くここだけは静かです。不動堂はちょっとだけ開いており、その隙間から浄財します。また、見えにくいですが前立ちの青銅製不動明王像もなんとか確認できました。気温が上がり暑い中、水分補給で一息したら3か所目に向かいます。



(3) 目白不動 (今乗院 (こんじょういん))

電車で山手線の目白駅、でなく最寄り駅の東京メトロ副都心線、雑司ヶ谷駅に移動します。坂道の途中に目的地はありました。



なお、目白不動は本堂と別の場所にあります。階段を登った先の不動堂で浄財をします。ここまで3か所を回り、時間は12時前ぐらい。暑さも疲れがありますが、少し休憩して4か所目に向かいます。



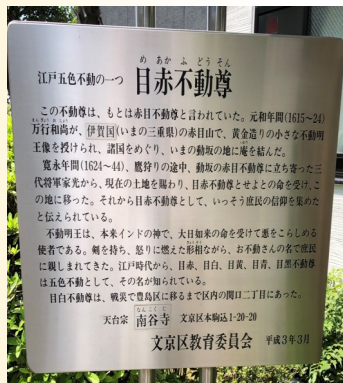
(4) 目赤不動 (南谷寺 (なんこくじ))

さらに電車を乗換ながら、最寄り駅の東京メトロ南北線、本駒込駅に到着。目的地は駅の近くでした。





前ページより



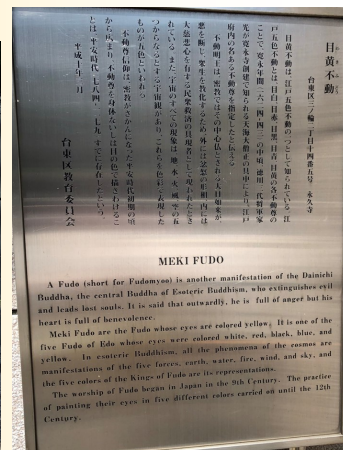
境内に入り右手の不動堂で淨財します。さらに境内を見て回ると江戸五色不動碑がありました。五色不動の由来は諸説ありますが、元々は目黒、目白、目赤の三不動のみで、五色不動の名称は明治以降に付けられたとの説もあります。残すは2か所。頑張って5か所目に向かいます。



(5) 目黄不動 (永久寺 (えいきゅうじ))



目黄不動その1。最寄り駅の東京メトロ日比谷線、三ノ輪駅に移動します。駅の出口を間違えたせいで迷いましたが、なんとか目的地に到着。

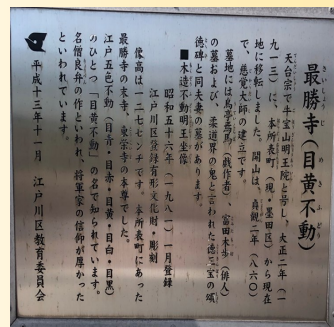


寺院自体は大きな幹線道路に面しており、普通の民家

の様にひっそりと存在していました。門は閉まっていますが、横にある通用門から境内に入り、左手の不動堂へ移動します。なお、浄財箱が見当たらなかったため、参拝のみ行いました。いよいよ最後、6か所目に向かいます。

(6) 目黄不動 (最勝寺 (さいしょうじ))

目黄不動その2。最寄り駅は総武線、平井駅なのでそちらを目指します。平井駅があるのは江戸川区ですが、電車で数駅進めばもう千葉県です。駅から目的地まで歩いて10分ぐらいですが、目的地と違う寺院が周りにあり、ウロウロしつつようやく到着です。



日差しが強い中、静かな境内に入り右手の不動堂で淨財します。時間は15時前でしたが、これで今回の道中は終了です。



五色不動巡りは初めてでしたが、6時間ぐらいで全部を回れました。ただ、1日で全ての寺院を回ろうと考え、5~10分位で次の寺院に移動していたので、ゆっくりはできなかつたです。また、かかった時間の大半は電車の移動ですが、結構歩き疲れました。なので、境内を散策したり御朱印を頂きたい場合は、数日かけて回ったほうがいいと思います。(御朱印は、新型コロナのこともあり中止している所がほとんどでした)

なお、各不動の不動明王像は秘仏で通常は拝観できませんが、御開帳の日であれば公開されるため、予定を確認して参拝しましょう。(例えば目黒不動の御開帳は12年毎。前回は2017年(平成29年)なので、次回は2029年(令和11年)です。)

総務部Sです。ユニクロ浅草でサステナビリティ アンバサダーに就任したみどりの「ドラえもん」を発見しました。



浅草から上野に向かって歩いていたら変わったポストを発見!

どうやら2019年4月に放送されていたアニメ「さらざんまい」のキャラクターのようです。





Microsoft Teamsの活用 システム開発部 S・R

現場では主なコミュニケーション手段としMicrosoft Teamsを使用しておりますが、先日パシオン社内でも導入したTeamsについて感じたことをまとめてみました。

■メリット

- ・チャット/通話

チャットはメールよりも、よりスピード感のあるコミュニケーションが図れると思います。メールのように毎回毎回 ○○様・・ x x様と宛先を羅列したり、「お世話になっております…」～「以上、よろしくお願ひします。」のような定型文も必要ありません。またこれまでグループメンバーとの連絡手段が個別に電話/SMSだけだったので、複数人での会話やオンライン会議にも使えるようになったのはうれしいことです。

- ・連携アプリ

なんといってもMS Officeとの連携が強みだと思ひますがほかにも自動化アプリによるワークフローの構築や、さまざまなアプリの統合ができるので、いろいろと試してみたいです。

■デメリット

- ・チャット

現場でも主な連絡手段はTeamsのチャットとなっていま

すが、連絡がチャットに偏っている弊害もあります。メールのように自分で受信の仕分けすることができないため、チャットの履歴がたまってくと目当てのメッセージを検索するのに苦労したり、数日前の会話を確認するだけでも、何度も何度もスクロールして探さなければいけません。

適宜、チャットルームの使い分けや別の管理簿ファイルやwikiなどにアウトプットしていかなければ、すぐに埋もれてしまいそうです。

- ・個人/社用の切り分けに注意が必要

スマホ・自宅PCにTeamsクライアントソフトをインストールして使用する場合、もともと個人用のOffice365の家庭向けプランを契約していましたが、エクセルを開いたとき、ログイン中のアカウントが意図せず社用アカウントだったりしました。勤務表確認やTeamsの社用MSアカウントのセッションが設定されていたのかもしれない。

うっかり個人的なファイルが社用環境に保存されないように注意したり、逆に社用ファイルが個人環境に保存されたりしないように注意が必要そうです。

社内では現場とはまた違った使い方になると思ひますが、有効活用できるような発見があればいいなと思ひます。

セキュリティ研修と緊急連絡一斉配信訓練の結果報告

セキュリティ委員会

コロナ禍が長引き、昨年からのキックオフもセキュリティ研修も皆で集まることが、すべて出来なくなった。そこで、コミュニケーションツールとしてMicrosoft365 teamsを導入した。

●8/6(金) 19:00～Teamsにてセキュリティ研修実施。

当日参加28名。不参加の社員及び契約社員は、後日同じ資料にて自宅学習を実施してもらうことで研修受講率は100%となった。

●9/9(木) 11:00 緊急連絡一斉配信訓練もTeamsにて実施。

個人のメールアドレス提供の必要がなく、返信はマークの押下で済むため、手軽さもメリット。しかし、配信側のTeams理解不足と受信側の設定等もあり、思ったほどすんなりとはいかなかった。が、その後メールでのフォローも併せるとTeamsからの返信は69%。メール返信を含めるとこちらも100%の返信率となった。

Teamsに関する課題も沢山見つけたり有意義な訓練となった。

今後とも様々な場面でTeams利用を積極的に行い、社員のコミュニケーションと効率アップにつなげていきたい。皆さまも有効活用してください。

本紙はパシオン社員の親睦を目的にした社内報です。パシオンをご理解下さる関係者に限定配布しております。

本趣旨にもとるご利用、お取り扱いはこちら様お願い致します。